

2015 年 08 月 30（日）千里キリスト教会 主日礼拝説教

聖書箇所 エペソ 05：15～21

説教主題「機会を十分に活用せよ」

説教者 徳本 篤 師

序言）

最近の自動車にはカーナビ装置がついているので、行ったことがない場所に行くにも住所か電話番号で先行地をセットするとそこまで親切に案内してくれる。到着したら「ご苦労様でした」と挨拶してくれる。しかし、優れた文明の利器も万能ではありません。新しい道路ができるたびに有料でデータを更新しなければなりません。

私の自動車のカーナビは 5 年前のまま更新していません。最近、山陰の方まで出かけることができました。最近できたばかりのきれいな高速道路が開通していました。近道になるというのでその道に入ると、カーナビが混乱してしまいました。地図にない空白なところを矢印が右往左往する状態になりました。このままどこに行くのか急に不安になってきました。

今日の説教は、「機会を十分に活用せよ」という主題ですが、私たちが自分の人生を賢い人のように歩んでいるかをテストしてみたいと思います。聖書が言う「賢い人」とは、目標に向かって真直ぐに根気よく取り組んでいる人の有様をあらわします。

本論） 賢い人のように歩んでいるかを試す 3 つのテストを考えてみましょう。

テスト 1 「与えられた機会を十分に活用しているか」（16 節）

テスト 2 「主のみこころを基準として判断しているか」（17 節）

テスト 3 「聖霊に満たされる生活を慕い求めているか」（18 節）

テスト 1 「与えられた機会を十分に活用しているか」（16 節）

機会：カイロス／目の前の出来事を評価し判断する。優先順位を決める。

生かす：ヘキサゴラゾー／救出する。商品を現金化する。代価を払って買い戻す：

犠牲を払ってでも機会を活かすために努力する。時と機会に対する熱意と情熱をしっかり持ち続ける。

悪い：ホネロース：危険で邪悪な罠。盲目で無感覚なため無駄に人生を過ごす。

「愚か者は自分の道を正しいと思う。しかし知恵のある者は忠告を聞き入れる。」（箴言 12 章 16 節）

正しい：ヨーム：日／日暮れまで時間がまだ十分にあると考える／未熟な若者は自分の人生はこれから先もまだ長く続くものだと思う。

忠告を聞き入れる：聡明な人は恥ずべき事柄から自分の身を護る（覆いで自分を隠す）

テスト2 「主のみこころを基準として判断しているか」(17 節)

みこころ：セレーマ：神の目的や求めにふさわしく選択し決断する。

悟る：スニエーミ：互いに対立するものの見方や認識を変えてそれらをつなぎ合わせる。聖書の教えの原則を実際の生活の中につましく適用し、それを活用するよう工夫する。それは義務的ではなく、なぜそうするのかという明確な動機付けが必要です。それが神に喜ばれるものだから私たちもそうしたいのです。

テスト3 「聖霊に満たされる生活を慕い求めているか」(18 節)

18 節「酒に酔ってははいけません。御霊に満たされなさい。」

酒：ホイノス：ぶどう酒

酔う：メスースコー：酒を飲む。飲んで酔っ払う。人に酒を勧めて飲ませる。

放蕩：アソーティア：人生に見放される。自堕落な生活。人生を無駄に浪費する。

酒を飲む結果) 酒を飲む習慣が聖霊に満たされる生活を妨げる要因になる。

例) I コリント 6 章 12 節～20 節では、不品行が主との交わりを妨げていることを教えている。

満たされる：プレーロオー：ともに聖霊による自由と一致の喜びを共有する。

聖霊に満たされる方法について紹介する)

「詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに語り、主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって父なる神に感謝しなさい。」(19 節)

この聖書の箇所は当時の教会の礼拝音楽の有様を記録しているとても貴重な資料です。

詩 プサルモス：詩編：楽器伴奏つきで詩篇をともに唱和する。

賛美 ヒュームノス：聖徒たちが作った讃美歌集をともに歌う。

霊の歌 オーデー：一般的な歌をあらわすが、神への讃美として歌われた。

共に語る ラレオー：神への賛美に心を合わせて互いにハーモニーを響かせる（語り合う）

教会員が互いに賛美をハーモニーさせることによって聖霊による自由と一致の喜びを共感共有していた。

結論)

あなたは聖書の語る賢い人の歩みのテストでいくつ合格しましたか。

今後もさらに努力しなければならない課題が見つかりましたか。

もっと力を注いでいきたいと思う新しい目標が見つかりましたか。

今日の聖書のみことばが、あなたの心に映り出しているあなたの幸いな人生と、その日々の歩みを主が豊かに祝福してくださるよう祈ります。